

2017年バシー海峡

### 戦没者慰霊祭・戦没者を

### 偲ぶ夕べに参加

#### 潮音寺の現状

潮音寺は、昭和56(1981)年8月19日、バシー海峡で九死に一生を得た元通信兵、中嶋秀次氏(平成25年、92歳で死去)の強い思いによって建立された施設で、現在は高雄で観光バス会社とお土産店を営んでいる呉昭平、鍾佐榮ご夫妻が土地、建物すべての所有権を有している。

鍾佐榮氏が500万円(約2000万円)を投じて改修に努め、完全復旧した状態でこの日の慰霊祭を迎えることができた。本紙面を借りて改めて感謝の意を表します。

#### 潮音寺での

#### 戦没者慰霊祭

第一部、慰霊祭は、11月19日(日)午前11時より潮音寺において約60名が参加して開催された。

先ず、日本台湾交流協会高雄事務所中郡錦藏所長の弔辞、臨濟宗南禅寺派禅林寺の吉田宗利住職(バシー海峡戦没者「駆逐艦呉竹」吉田宗雄艦長のご子息)による読経の間、参列者



潮音寺での集合写真

全員が焼香し、慰霊祭は12時に滞りなく終了した。引き続きバシー海峡を望む海岸にて献花が行われた。当

#### バシー海峡

#### 戦没者を偲ぶ夕べ

第一部、戦没者を偲ぶ夕べは、午後7時より高雄国賓大飯店において約30名が参加して開催された。

渡邊崇之バシー海峡戦没者慰霊祭実行委員長の開会の辞に続き、来賓を代表して日本台湾交流協会高雄事務所中郡錦藏所長が挨拶、台湾日本人会高雄支部万年博之支部長の献杯で懇親会が始まった。途中遺族や参加者全員からのお話などがあり、最後に共催団体の潮音寺管理委員会から鍾佐榮氏が、台湾協会から森田理事長が挨拶し、偲ぶ会は午後9時閉会した。

台湾協会報

2017年12月号 (2017.12.15)